

# 学校だより 「11まかべ」

第16号

2011（平成23）年7月20日

糸満市立真壁小学校

新校舎での、初めての終業式です。体育館改築工事が始まっていて、広い体育館での儀式が出来ません。東校舎2階にある学習スペースに、全児童141名が集まったの儀式となりました。

それでも中身はむしろ充実していて、式服（白の上着に黒のズボン・スカート）に身を包んでの参加に緊張感がたどよい、各学級代表あいさつや校歌斉唱などが、厳粛に生き生きと行われました。

児童の式に臨む姿勢に、礼儀正しさと1学期の充実感が伝わってきたものです。



## 第1学期終業式での児童あいさつ 7/20（水）

# 「長い本が読めるようになった」「250mを泳ぎ切った！」



### ■「1学期をふり返って」

私は、最上級生になって、委員会や勉強をがんばってきました。その中でも、一学期にできるようになって一番うれしかったことは、プールで250mを泳げるようになったことです。

私は、5月の体育の授業で足を骨折してしまい、マット運動やバレーなどの体育学習をやることができません

でした。プールも同じように足が治っていなくて、前半は泳ぐことができませんでした。

骨折が治って、プールに入れるようになって、みんなみたいにすいすい泳ぐことができませんでした。でも、あせらずに友だちと比べず、自分のペースで練習をがんばっていったので、最後のテストでは、250m泳ぐことができました。

練習では、一度も250mを泳いだことはなかったので、泳げたときは、すごくうれしかったです。

でも、一学期にできなかったこともあります。それは、エイサーの練習です。私は、去年転校してきたので、エイサーは踊ったことがありませんでした。みんなと同じ動きやポーズをとるのが難しかったです。

だけど、二学期の運動会で踊るので、たくさん練習して早くみんなに追いつきたいです。なので、夏休みも、家でたくさん練習したいです。

私は、ほかにがんばりたいことがあります。2学期になっても、いろいろなことをがんばって、最上級生として下級生のお手本になれるようにしたいです。そして、もっともっと楽しい学校にしたいです。チバインドー！

（6年 鳥羽咲優美）

### ■ 個人面談と長い夏休み

既にお知らせしましたように、学級担任と保護者との個人面談が始まります。これまでの学習と生活の足跡をデータにして、成果や課題について話し合う計画です。家庭と学校が連携を更に深めて、今後の諸活動に生かしていくことが出来るような意義のある話し合いにするよう準備を進めています。

明日（21日）から長い夏休みに入ります。安全に留意して、有意義な夏休みを過ごして欲しいと思います。



### ■「1学期にがんばったこと」

わたしは、1学期にがんばって、できるようになったことが2つあります。

一つは、長い本を、たのしく読めるようになりました。はじめは、すらすらとは読めなかったけど、ゆっくり字を見て、ちゃんと読んだので、長

い本でも、字が小さい本でもきれいに読めるようになりました。

たくさん読めるようになって、としょかんに行くのがたのしくなっています。

二つめは、プールのおべんきょうで、かおをつけて けのびができるようになりました。さいしょは、こわくてかおがつけられなかったけど、いっぱいれんしゅうして、できるようになりました。

できたとき、とってもうれしかったです。

2学期は、きゅうしょくを、のこさずたべること、朝のかつどうをがんばりたいです。夏休みは、早おきのれんしゅうをがんばりたいです。

（2年 かみざと こなつ）

### ■お知らせ

一学期間、特別支援学級を担当していただきました古波蔵彩乃教諭が、任務を終えて退任することになりました。初めての小学校勤務にもかかわらず、指導法を一所懸命に模索しながら、子どもたちに愛情を注いでの力の限りをつくした実践であったことをお知らせします。

古波蔵彩乃教諭、真摯な教育活動に感謝します。ありがとうございました。

### 【お世話になりました】

一学期の間、真壁小学校でたくさんのお話を学ぶことができました。働き者の子どもたちと過ごすことができ、とても楽しかったです。

毎日、元気なあいさつをしてくれて、にこにこの真壁っ子の皆さんとの約4ヶ月は、たくさんの思い出ができました。一緒に勉強するのが最後になるのはさびしいのですが、安全に気をつけて、夏休みを過ごしてください。

二学期も、いろいろなことに挑戦してください。

保護者の皆様、先生方、そして児童の皆さん、一学期の間、ありがとうございました。（教諭 古波蔵彩乃）

